

まかせて 清掃やカフェ

日野市「光の家」に公園の運営委託



カフェでお弁当などを販売する大崎さん（左端）ら

東京都

東京都日野市は、4月に開所した旭が丘地区センターの管理・運営を地元社会福祉法人に委託した。障害者が清掃に取り組んだり、カフェを開いたり、カフェを開いたりして地域交流の原動力になっている。

老朽化と地元住民からの要望により、旧センターの隣に新設。JR豊田駅から徒歩約20分の住宅街にある旭が丘中央公園内に位置する。園内にはテニスコートやグラウンドを備



第2・4水曜日には市の移動図書館が訪れる

同市に66カ所ある地区センターのうち、旭が丘地区センターだけがモデルケース的に実施する先駆的な取り組み。同センターの建築費約9000万円の半分を都が補助金で賄ったといい、同市地域協働の担当者は「都内、全国的にも珍しい取り組みだったからでは」と振り返る。

開所から1カ月が経過し稼働率は上がり、障害者や利用する人の反応も上々だという。東京光の家の石渡健太郎常務理事は「これは最高のコンセプト。障害者に優しい街は誰にとっても住みやすい街。地域共生社会を考

（市川傑）